

ごみの資源化・減量化にご協力ください!

生活環境係

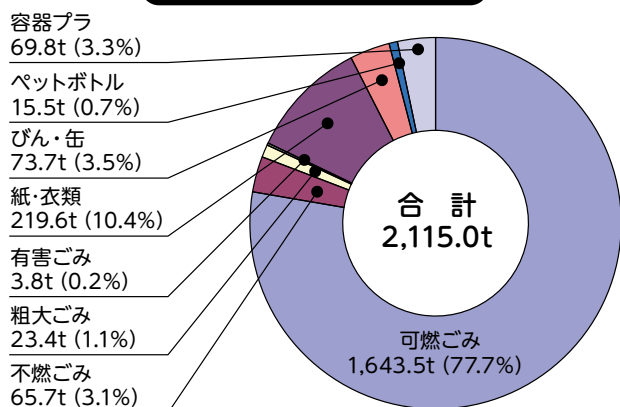
令和元年度に立科町から排出されたごみの総量は、前年度比較で約29.5t減少しました。

可燃ごみは1643.5tと、新クリーンセンター（令和2年12月本稼働予定）への搬入計画処理量1,471t(立科町分)を大きく上回っています。施設の運営費等は、可燃ごみの投入量で大きく左右されることから、**ごみの減量化に積極的な協力**をお願いします。

なお、立科町では生ごみ処理機器等の購入に対し補助制度があります。生ごみの資源化・減量化として、ぜひ、ご活用ください。

立科町のごみ処理状況

令和元年度ごみ処理量



町全体総排出量 2115.0t

(平成30年度: 2,144.5t)

町民1人当たり年間排出量 293.5kg

// 1日排出量 801.8g
(茶わん約5杯分)

全町民が1日当たり、ミニトマト1個分*のごみを減量すると、**年間約40tの減量化が可能**です!

*ミニトマト: 15g/個で換算

人口(令和元年10月1日現在)
7,207人(外国人含む)

川西保健衛生施設組合は、立科町、東御市、佐久市が共同で維持管理運営をしており、毎年、各市町からのごみの搬入量に応じて、費用を負担しています。

ごみの排出量が減れば、町の費用負担も少なくなりますので、ごみの減量化にご協力ください。

1 「ごみゼロの日」県下一斉行動について

県では、県下統一の行動日を設け、環境美化運動を推進しています。

町においても町内の環境美化を図るため、県の統一行動日を中心として清掃活動等を推進しています。

住民の皆さんも各地区での清掃活動等にご理解ご協力ください。

統一行動日 5月31日(日) 統一テーマ「ポイ捨ては 僕の心が 許さない」

(令和元年度 環境保全に関するポスター及び標語コンクール入選作品(小学生・中学生))

2 「“チャレンジ800”ごみ減量推進事業」「食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～」 「残さず食べよう! 30・10運動」等

県では、「もったいない」を大切に、ごみ減量日本一! ～美しい信州を次世代へ～を基本目標に、さまざまな取り組みを推進しています。

ごみ減量の第一歩は身近な心がけが大切となりますので、一人ひとりが環境に対しての関心を持ちましょう!

ごみ減量化のポイント

1. 生ごみの減量化・資源化

- 調理くずや食べ残しを減らし、出してしまった生ごみは**良く水を切ってから出すか、堆肥化**をしましょう!

2. 容器包装ごみの減量化

- 買い物ときは**マイバック**を使いレジ袋や不要な包装は断りましょう!
- 返却・再利用のできるリターナブル容器入りの商品を選びましょう!

3. 環境にやさしい買い物

- 計画的な買い物をしましょう!
- リサイクルのできる商品を購入しましょう!

- 環境ラベルのついた商品を購入しましょう!(エコマーク)

4. 資源化

- 可燃ごみや不燃ごみとして出しているごみの中に、リサイクルできるごみが含まれていませんか?
きれいに洗うなどして、資源ごみとして出しましょう!

5. リサイクルバザーなどの利用

- 不要になったものは人に譲ったり、フリーマーケットやリサイクルバザー、リサイクルショップなどを活用しましょう!

3Rを実践
しましょう!

- Reduce: リデュース … 不要なものは買わない
- Reuse: リユース … 使えるものは繰り返し使う
- Recycle: リサイクル … 再資源化する